

# 人権教育だより

9月号

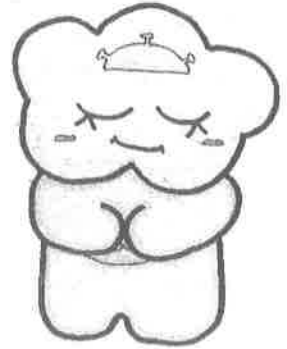
難波小学校 人権教育部

令和4年9月30日

## 家庭読書の定着に向けて

お忙しい中で家庭読書活動にご協力いただき、ありがとうございます。毎月の活動にも関わらず、たくさんのコメントや感想を書いていただき、子どもたちの学びにもなると共に、親子の会話も多くなったのではないのでしょうか。

2学期の記録用紙を子どもたちに配布しておりますので、引き続き活動にご協力をよろしくお願いします。



### ちょこっとコラム

### 家庭読書のコメントを紹介します

家庭読書のお家の人からのコメントに素敵なのがたくさんあります。少しずつ一部ですが紹介します。

- 地元の環境や歴史を身近に感じて学んでほしいと思います。
- 前より文章の理解ができるようになってきたかと思います。相互の幸せについてこの内容はわかりできればよいかと思います。私も常日頃幸せは人から与えられその時に感謝の気持ちが大事だと思っています。
- お手伝いや挨拶など、普段の生活で大切なことをしっかり身につけるために、親としてサポートの仕方を考えるきっかけになりました。
- わたしも、カブトムシを飼っていますが、さなぎになった後、生まれるときは同じでとても感動します。生き物の誕生はすごいと思います。
- このお兄さんみたいに自分のことだけじゃなく、ほかの人のことも考えられるやさしい人になってほしいと思いました。自分も含めてみんながこうあってほしいですね（父・母）自分のことだけではなく、人のことをわかる人間になりたいです。（本人）
- 子どもと一緒に本を読む時間がなかなか取れずにいましたが、家庭読書の時間で、子どもの感想など成長しているところが見えてとてもうれしく思いました。これからも、たくさんの物語に触れてほしいなと思いました。
- 毎月子供と一緒に家庭読書をすることで同じ話を共有し、その事について話す時間をもち共感することができて良かったです。こういう時間も大切にしていきたいなあとと思います。
- 私も子どもの頃、ほうきに乗って飛べると思っていた事を思い出しました。友だち同士で違う部分を良いと言ってくれる所（自分には無い所を見て友だちになりたい）が心があたたまりました。
- 家庭読書を終えて、感想や意見を言い合うと成長を感じられ嬉しく思え、貴重な時間を過ごせています。